

ベン・テマ小学校と横浜市立茅ヶ崎小学校（都筑区）の交流

令和5年2月14日
在ボツワナ日本国大使館

2月13日、大森撰生大使はハポローネ市にあるベン・テマ小学校を訪問し、横浜市立茅ヶ崎小学校（都筑区）の児童が作成したポスター作品を、モケティ・ベン・テマ小学校校長に手交しました。

同ポスター作品は、茅ヶ崎小学校の3年生（3年5組）が、総合学習の「ミニ大使になろう」という単元で、ベン・テマ小学校の友だちに伝えたいことを、模造紙にまとめたものです。これら9枚の作品は、日本の食べ物、動物、名所、遊び（けん玉や折り紙）などについて、絵や写真を用いて、日本語と英語の両方で説明されています。

今後、ポスター作品はベン・テマ小校内に掲示され、同校児童が茅ヶ崎小学校から送られた作品を見て読んで楽しむとともに、日本や日本文化の理解につながるものと期待しています。

（注）ベン・テマ小学校と茅ヶ崎小学校では、両国の日常・学校生活の様子を描いた児童画の交流を2014年より行っており、毎年ベン・テマ小学校と横浜市都筑区にて両国の作品を展示した児童画展を開催しています。同児童画展は、2022年度に第9回目の開催を迎えました。

【ベン・テマ小学校】



大森大使によるポスター作品の受け渡し



ベン・テマ小学校の校内視察